

一般臨床医必見です！

パーシャルデンチャーへの応用と成功させるコツ

—BPSデンチャーとその可能性—

先生方もご存知のように、BPS (Biofunctional Prosthetic System) 生体機能的補綴システムは、ヨーロッパの歯科大学や臨床医により考案されたIvoclar Vivadentの総義歯製作法です。術者の経験に左右されずに概形印象や閉口機能印象・顎運動記録、排列・重合などの総義歯作成のステップをシステムティックに行うことができます。

患者さんは今の義歯に満足しているのでしょうか？BPSならその希望に応えることができます。本セミナーではパーシャルデンチャーまで拡大し、BPSの各印象ステップと、咬合高径採得、三次元的な顎位の決定方法をスライドと動画でわかりやすくご紹介いたします。

歯科医師はクリニカルメンバーへのステップとして、またクリニカルメンバー取得後の復習。歯科技工士は、印象立会いのポイント。歯科衛生士、歯科助手は、印象の準備、印象材やトレーの受け渡しのタイミングをそれぞれ学ぶことができます。



講師 佐藤貴映先生
BPSクリニカルインストラクター

1993年 明海大学歯学部卒業
1997年 ひかり歯科クリニック開設
2003年 博士(歯学)号取得
2006年 BPSクリニカルインストラクター就任
2015年 ラオス国立ヘルスサイエンス大学
客員教授就任



講師 押元 敦先生
BPSクリニカルメンバー

1998年 東京歯科技工専門学校卒
2003年 有)デュラワークス開設
2004年 BPSアドバンスセットアップコース修了
2012年 ゲルパーメットデンチャーコース終了
2014年 銀座深水皓三先生治療用義歯コース修了

記

- 日時 2016年6月26日(日) 9:30~15:30
- 会場 ホテルマリンパレスさぬき(高松市福岡町2-3-4 無料駐車場あり)
- 参加費 無料